

～ネパール・シンズーパルチョーク郡地震被災地区から現地報告～

### 衛生と栄養教育で生活改善のキッカケづくりに貢献 2016.8.31

地震を知らないネパールに

2015年4月25日 7.8Mag, 26日 6.7Mag, 5月12日 6.8Magの大地震

震源地は首都カトマンズに隣接するパルチョーク郡、家屋やインフラが壊滅状態。中でも学校は557校のうち546校が被災校となり、そのうち428校のトイレが損害を受けた。生徒のトイレ使用と衛生の維持が困難になった。

健康な生活維持のために、衛生と栄養の教育を施し、生活向上のキッカケにもと思い、パルチョーク郡教育庁と現地提携先:PHIDReCの話し合いで、2016年2月～8月で **Wash(Water Sanitation and Hygiene)and Nutrition education project** を構築。8月末に第1回の教育事業を行った。

場所は Shree Ramdevi Secondary school in Sindhupalchowk

Erkhu Higher Secondary School i Sindhupalchowkn

対象生徒 842名 配布教材 石けん、歯ブラシ、磨き粉



教材の配布



校庭で WASH 教育の授業



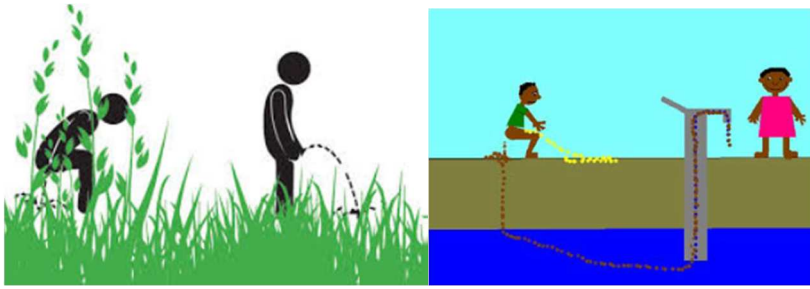
授業感想文の発表



感想文入賞者



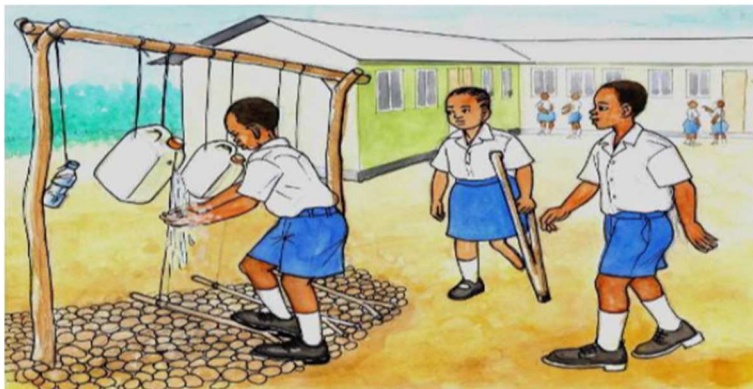
先生よりメッセージを聞く生徒



開発された教材の一部 トイレ、手洗いの勧め



手洗いの仕方



お金を掛けない手洗い所の一例